

SUNPOT

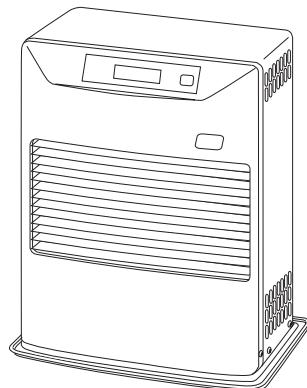
サンポットガスFF暖房機

取扱説明書

形式の呼び

FF-4215G

FF-4215G(U)



製品名

FF-4215G・FF-4215G-P

FF-4215G(U)・FF-4215G-P(U)

ご使用前に

2~16

準備

17~18

使用方法

19~30

点検・その他

31~43

保証書
巻末

- このたびはサンポットガスFF暖房機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- お使いになる前に必ずこの取扱説明書をよく読んで、機器を正しくご使用ください。
なお、この取扱説明書は、保証書・設置工事説明書と共に必ず保管してください。

**機器の設置工事はお買い求めの販売店にご依頼ください。
(機器を移設させる場合も同じです。)**

- 取扱説明書の巻末には保証書が付いています。
保証書はよりよい製品づくりやアフターサービス向上に役立たせていただきますので、お手数ですが所定事項のご記入をご確認のうえ、必ず保証書(販売店様控)をお買い上げの販売店にお渡しください。

もくじ

ご使用前に	特に注意していただきたいこと… 2~11 使用する場所…………… 12 機能と特徴…………… 13 各部のなまえ…………… 14~16 ●外観図…………… 14 ●表示部・操作部…………… 15~16
準備	使用前の準備…………… 17~18 ●点火前の準備と確認…………… 17~18
使用方法	使用方法…………… 19~29 ●点火…………… 19 ●室温調節…………… 20 ●固定運転…………… 21 ●消火…………… 22 ●時刻・曜日合せ…………… 23~24 ●タイマー運転…………… 24~27 ●セーブ運転…………… 28 ●チャイルドロック…………… 29 安全装置…………… 30
点検・その他	日常の点検・手入れ…………… 31~32 定期点検…………… 33 故障・異常の見分け方と処置方法… 34~36 保管…………… 37 仕様…………… 38 アフターサービス…………… 39 据付け…………… 40~41 試運転…………… 42~43
保証書	保証書…………… 卷末

特に注意していただきたいこと

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書には本機を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項が表示されています。

表示内容をよくご理解いただき、本文をお読みください。

ご使用前に

- ここに示した事項は △ 危険、△ 警告、△ 注意に区分しています。

 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 本文中のマークは次のような意味があります。



特に注意していただきたいこと つづき

⚠ 危険 (DANGER)

ガス漏れ時使用厳禁

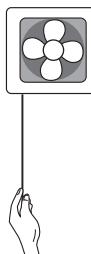
- ガス漏れに気付いたときはガス事業者(供給業者)の処置が終わるまでの間、絶対に火を着けたり電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しありおよび周辺の電話を使用しないでください。炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



火気禁止



禁止



- ①すぐに使用をやめ、ガス栓とメーターのガス栓を閉じる。



必ず行う

ガス栓を閉じる



- ②窓や戸を開けガスを外へ出す。



必ず行う



- ③最寄りのガス事業者(供給業者)に連絡をしてください。



必ず行う

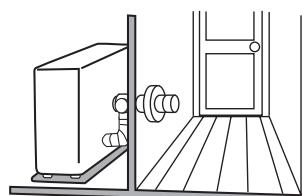


屋内給排気厳禁

- 室内に排気すると排ガスが室内に充満して異常燃焼し、一酸化炭素中毒の原因になり危険です。
必ず屋外に排気してください。



禁止

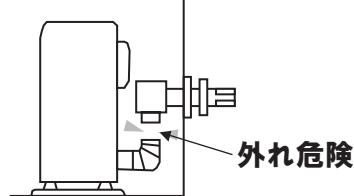


安全のために必ずお守りください

⚠ 警告 (WARNING)

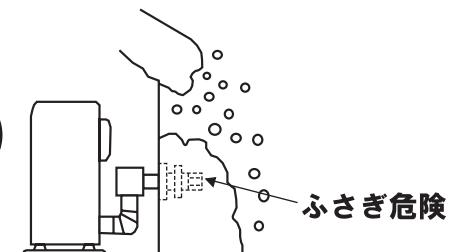
給排気筒(管・ホース)外れ危険

- 給排気筒(管・ホース)が外れたまま使用しないでください。
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。



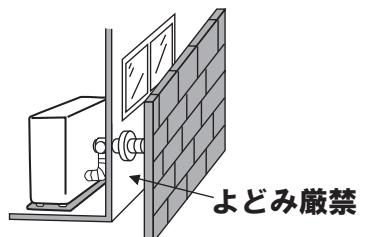
給排気筒トップ閉そく危険

- 給排気筒トップの周りがふさがれた状態で使用しないでください。
雪でふさがれているときは、除雪してください。
ふさがれていると運転中に排ガスが室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因になります。



燃焼排ガスがよどむ場所に設置しない

- 燃焼排ガスが自家、隣家に入りやすい場所やよどむ場所には設置しないでください。
不完全燃焼の原因になります。



指定のガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)以外使用厳禁

- 機器の銘板に表示以外のガス種および電源で使用しますと、不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火や機器の故障の原因になります。
- 転居された場合にもガス種(ガスグループ)および電源が一致していることを必ず確認してください。
- わからない場合はお買い求めの販売店、または最寄りのガス事業者(供給業者)に連絡してください。

この機器の銘板は本体上面に貼ってあります



例：銘板 (12A・13A用)

製品名 : FF-〇〇〇〇	製品名
FF-〇〇〇〇	形式の呼び
外壁用(FF-W) 都市ガス用 12A・13A 12A 0.00kW 13A 0.00kW	ガスの種類 電源(電圧)
定格電圧 : AC100V 定格周波数 : 50/60Hz 定格消費電力 : 〇〇/〇〇W	電源(周波数) 電源(周波数)
製造 〇〇〇〇〇〇-〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇.〇〇	製造番号 製造年月
サンポット株式会社	サンポット株式会社
エネルギー消費効率 : 82.7%	エネルギー消費効率 : 82.7%

機器の設置工事・移設工事はお買い求めの販売店に依頼してください

- 機器の設置工事や移設工事は必ずお買い求めの販売店または最寄りのガス事業者(供給業者)に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。
ご自分で設置・移設工事をされ不備があると火災、一酸化炭素中毒、ガス漏れの原因になります。



必ず行う



必ず行う

特に注意していただきたいこと つづき

⚠ 警告 (WARNING)

ガス接続は専門業者に依頼してください (ガス管は規定の強化ガスホースか金属管接続が必要です)

- この機器はねじ接続です。ガス管接続工事には専門の資格、技術が必要です。
必ずお買い求めの販売店または最寄りのガス事業者(供給業者)に依頼してください。
正しく接続しないとガス漏れ、一酸化炭素中毒、火災の原因になります。

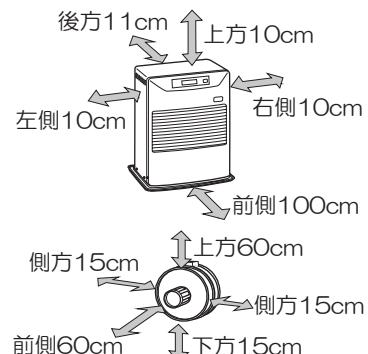


離隔距離の厳守

- 機器の上や周囲に燃えやすいものを置くと火災の原因になります。
- 給排気筒トップ周辺の障害物(壁など)と十分な離隔距離をとってください。
不完全燃焼の原因になります。
- 可燃物との離隔距離は、標準据付け例(40~41ページ)で確認してください。

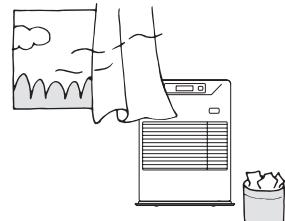


必ず行う



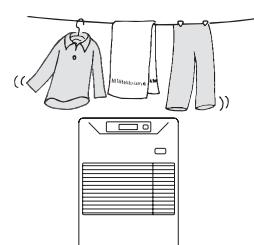
カーテン・可燃物近接禁止

- カーテンや燃えやすいものを近づけないでください。
機器の過熱や火災の原因になります。



衣類の乾燥など暖房以外での使用禁止

- 衣類の乾燥など暖房以外の用途に使用しないでください。
火災の原因になります。



引火のおそれのあるもの使用禁止

- スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを近くで使用している際は機器を使用しないでください。
引火、爆発の原因になります。



安全のために必ずお守りください

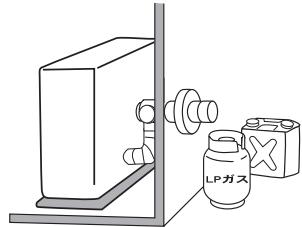
⚠ 警告 (WARNING)

給排気筒付近の可燃物近接禁止

- 給排気筒トップの近くに、灯油や可燃物など引火のおそれのあるものを置かないでください。
火災のおそれがあります。



禁止

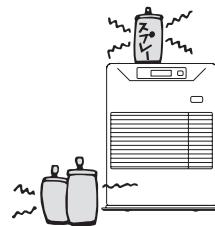


スプレー缶厳禁

- スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを、機器の上や前に（周囲に）放置しないでください。
熱で缶の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。



禁止



温風に直接あたらない

- 温風に直接長時間あたらないでください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。
また、体調悪化や健康障害の原因になります。



禁止



低温やけどに注意

- 長時間皮膚の同じ場所に触れないでください。
比較的低い温度 (40 ~ 60°C) でも、低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。
特に乳幼児・お年寄り・お体の不自由な方などがお使いのときは、周りの方が注意してください。



禁止



温風吹出し口・空気吸込口をふさがない

- 衣類・紙などで温風吹出し口や機器背面部の空気吸込口(フィルタ部)をふさがないでください。
火災の原因になります。



禁止



運転したままの外出・就寝は絶対しない

- 運転したまま外出しますと、予期せぬ事故の原因になります。
- 就寝されるときは、タイマー運転以外は使用しないでください。



禁止

特に注意していただきたいこと つづき

⚠ 警告 (WARNING)

異常時使用禁止

- 点火しない場合、使用中に異常な燃焼・臭気・異常音・異常な温度を感じた場合、または使用途中で消火する場合は運転を停止し、ただちにガス栓を閉めて使用しないでください。
異常のまま運転を続けますと、爆発や火災の原因になります。
- 異常を感じた場合は「故障・異常の見分け方と処置方法」(34 ~ 36 ページ) を参照してください。
- 上記の処置をしてもなおならない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。



禁止



ガス栓を閉じる



必ず行う



地震・火災など緊急時使用禁止

- 地震・火災などの緊急の場合は、ただちに運転を停止し、ガス栓を閉めて使用を中止してください。



禁止

運転スイッチを切る



ガス栓を閉じる



必ず行う

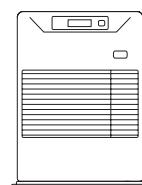


改造・分解禁止

- 修理・改造には高度な専門知識が必要です。お客様ご自身で、工具を使用しての分解や修理・改造は、絶対に行わないでください。
一酸化炭素中毒や火災、機器の故障の原因になります。



分解禁止



電源コード直接引っ張らない

- 電源プラグを抜くときには電源コードを直接引っ張らないでください。
断線などで発熱・発火の原因になります。



禁止

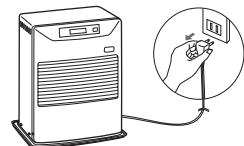


電源プラグによる消火禁止

- 電源プラグを抜いて運転を停止しますと、故障や予期しない事故の原因になります。



禁止



安全のために必ずお守りください

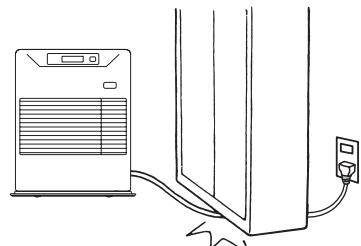
⚠ 警告 (WARNING)

電源コードへのもの載せや切断禁止

- 電源コードに無理な力を加えたり、重いものを載せたり、引っ張ったりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを切断して延長しないでください。火災や感電の原因になります。



禁止



電源プラグは確実に差し込む

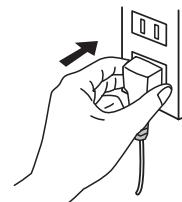
- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災や感電の原因になります。



必ず行う



禁止



ぬれた手で抜き差しをしない

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。
感電の原因になります。



ぬれ手禁止

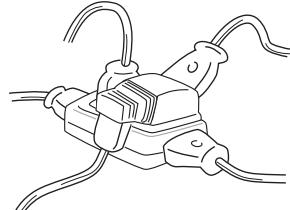


許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外では使用しないでください。
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



禁止

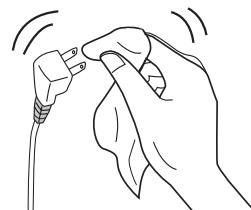


電源プラグのお手入れをする

- 定期的に電源プラグを抜き、ほこりなどを除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



必ず行う



給排気部の点検をする

- いたずら等により給排気筒トップがつぶれたり、ふさがれないと排ガスが室内に漏れ、一酸化炭素中毒の原因になります。また外壁の塗装や増改築、修繕時など養生シートで給排気筒トップがおおわれた場合も同様です。



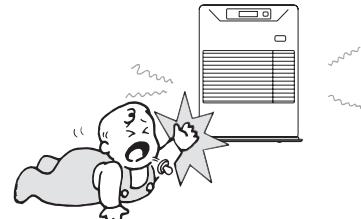
禁止

特に注意していただきたいこと つづき

⚠ 注意 (CAUTION)

高温部に注意

- 燃焼中や消火直後は、温風吹出しきやエアーフィルタ部、排気管などは高温になっておりますので、操作部以外には手などを触れないでください。
- 燃焼中や消火直後は、給排気筒トップは高温になっておりますので手などを触れないでください。やけどのおそれがあります。
特にお子様が触れるおそれがあるときは保護ガード（関連部材）をご使用ください。



禁止

指や異物を入れない

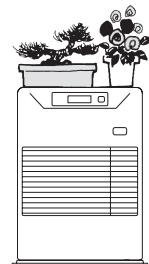
- 温風吹出しきや空気吸込口に指や異物を入れないでください。
内部で回っている対流ファンによるケガや火災のおそれがあります。



禁止

腰をかけたりものを載せない

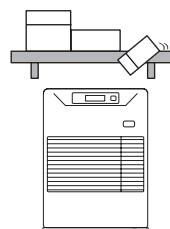
- 機器の上にのったり、腰をかけたりしないでください。
機器の故障ややけどのおそれがあります。
- 機器の上に花びんや水を入れたものを置かないでください。
水がかかると漏電や故障のおそれがあります。



禁止

棚の下などで使用しない

- 棚の下など落下物の危険がある所では使用しないでください。
機器の破損や落下物によっては火災の原因になります。



禁止

温風吹出しきの前にギャラリ（格子）を取り付けない

- 火災の原因となります。



禁止

小さなお子様がいたずらしないように注意してください

- 予期しない事故につながるおそれがあります。



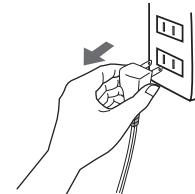
禁止

安全のために必ずお守りください

⚠ 注意 (CAUTION)

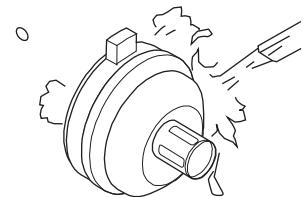
長期間使用しないときは電源プラグを抜く

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
火災や予期しない事故の原因になります。



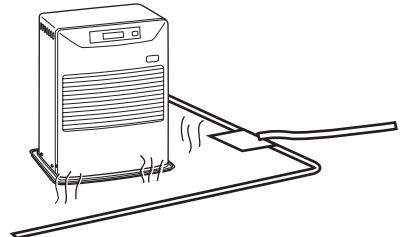
給排気筒トップにホースなどで水をかけない

- 機器内に水が入ると感電・故障の原因になります。



温水マットなどの上に設置しない

- 温水マットや電気カーペットの上に設置しないでください。機器の重みで温水マットや電気カーペットが故障する原因になります。
また、温水マットや電気カーペットの熱で機器が正しく制御しないことがあります。

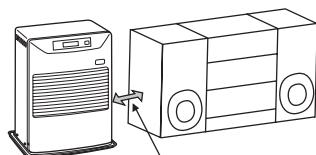


ラジオなどから離す

- ラジオ・ステレオなどを近くで使用する場合は、雑音が入る事があるので、離して使用してください。



必ず行う



できるだけ離して使用



禁止

エアーフィルタを外しての運転禁止

- エアーフィルタを外して運転しないでください。
機器内部へのほこり詰まりによる故障の原因になります。



禁止



特殊な場所での使用禁止

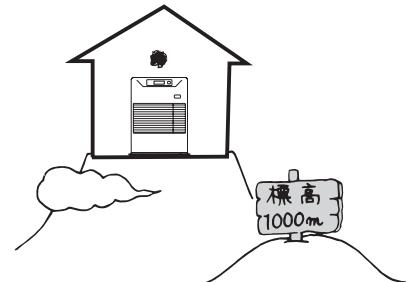
- 機器は居室の暖房用につくられたもので
す。クリーニング店、美容院など化学薬品
を使用する場所で使用しないでください。
化学薬品などの影響により異常燃焼や故障
の原因になります。この場合の修理は、保
証期間内でも有料となります。
- 乾燥室・温室・飼育室などでは絶対に使用
しないでください。
植物が枯れたり、動物が死亡する場合があ
ります。

特に注意していただきたいこと つづき

⚠ 注意 (CAUTION)

高地注意

- 標高1000m未満でご使用ください。
標高1000m～1500mで使用する場合は
調整が必要です。
お買い求めの販売店にご相談ください。
そのまま使用しますと、空気不足となり異常燃焼の原因になります。



点火・消火の確認

- 使用時は点火(燃焼ランプの点灯)、消火(燃焼ランプの消灯)を確かめてください。



機器を廃棄する場合

- 機器を取り換えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。

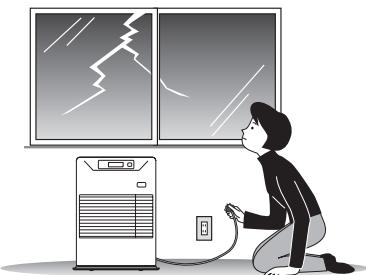


必ず行う

お願い (NOTICE)

雷時の注意

- 雷が接近したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
雷による一時的な過電流で電子部品が損傷する場合があります。
- 使用中に電源プラグを抜きますと機器が過熱して故障の原因になる場合がありますので、雷が近づく前に運転を停止して、対流ファンが止まってから抜いてください。



停電時の注意

- 停電したときや、使用中に誤って電源プラグを抜いて機器が停止したときは、エアーフィルタ部や機器の上面などが高温になっておりますので、手を触れないでください。

使用する場所

機器を安全に使用するためには、場所の選定が大切です。

場所の選定は「据付け場所の選定および標準据付け例」の項をお読みください。
(40~41ページ参照)

■効果的に使用するため

- 冷たい外気に接する窓ぎわや壁側に据え付けると、冷気が暖められて対流しますので効果的です。
- 機器の前方に障害物があると、部屋の温度にむらができる原因になります。

次の場所では使用しないでください。火災や予期しない事故の原因になります。

- 水平でない場所、不安定な場所
- 不安定なものを載せた棚などの下
- 可燃性ガスの発生する場所またはたまる場所
- 付近に燃えやすいものがある場所
- 階段、避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 温室、飼育室など人のいない場所
- 水のかかりやすい場所
- 愛がん動物や植物などに燃焼排ガスが直接当たる場所

機能と特徴

■FFタイプ

燃焼に必要な空気を室外から取り入れ、燃焼後の排ガスを室外へ出す方式(FF式)ですからクリーンな暖房です。

■簡単操作

点火・消火は、運転スイッチを押すだけのワンタッチ操作です。
(19~22ページ参照)

■固定運転機能

設定室温を「Lo」または「Hi」にすると、火力を自動的に調節せずに最小または最大火力で燃焼し続けます。
(21ページ参照)

■セーブ運転機能

セーブ運転を設定すると、現在室温が設定室温より約2°C上昇した状態が1分間続くと自動的に消火し、現在室温が設定室温まで下がったら自動的に点火します。お部屋の暖めすぎをおさえます。
(28ページ参照)

■受付音調整機能

ボタン受付音の「ピッ」音を消すことができます。
(16ページ参照)

■ガス漏れ警報機能

市販品のガス漏れ警報器(有電圧出力タイプ)を接続することが出来ます。接続することでガス漏れ発生時には、チェックモードを表示し、運転を停止します。
(36・42ページ参照)

■室温を適切にコントロール

お好みの室温に設定すると火力を自動的に調節してお部屋を暖めます。
※お部屋の温度が設定温度に達しても消火しません。
(20ページ参照)

■おはようタイマー運転機能

時刻を24時間デジタル表示で5分刻みに設定でき、ご希望の時刻に運転を開始します。また、曜日を指定することにより、最大1週間先まで設定が可能です。
(24~25ページ参照)

■おやすみタイマー運転機能

寒い夜などおやすみ前に時間を30~90分(10分毎)で設定でき、時間経過後に自動的に消火します。
(26ページ参照)

■同時予約タイマー運転機能

おやすみ・おはようタイマーの両方を行いたい場合に同時に設定できます。
(27ページ参照)

■チャイルドロック機能

小さなお子様などによるいたずら操作の防止や、誤って運転スイッチを押しても点火しないように、操作部をロックすることができます。
(29ページ参照)

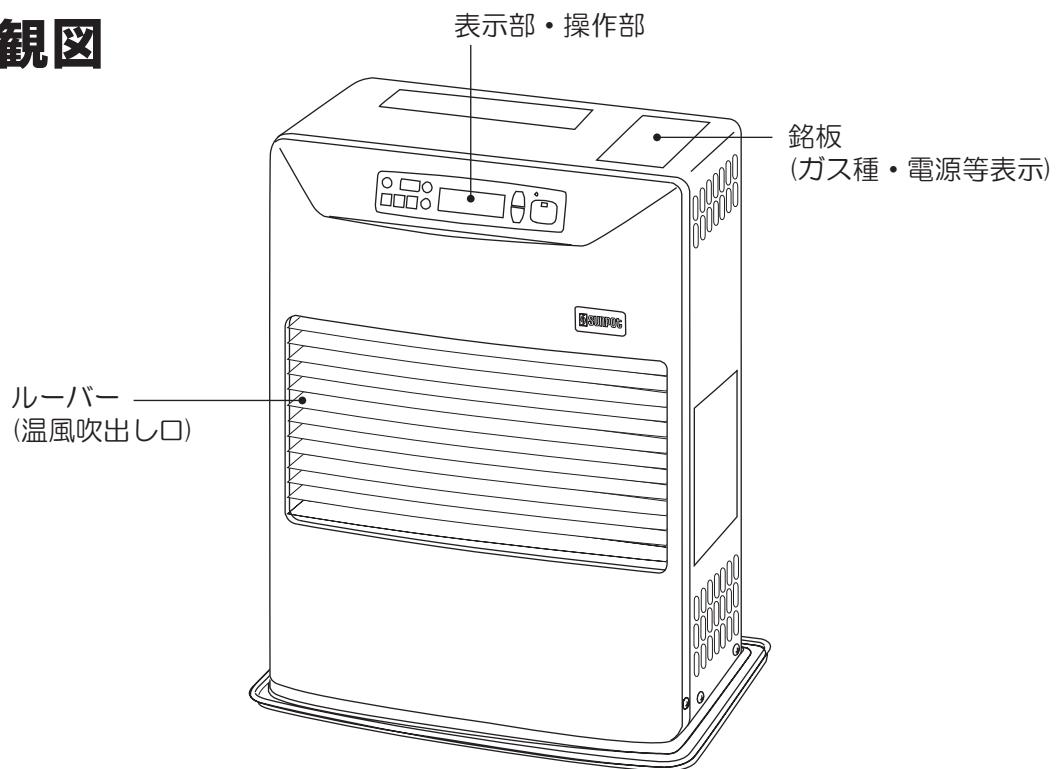
■バックライト(照明)調節機能

表示部バックライト(照明)の明るさを調整することができます。
(16ページ参照)

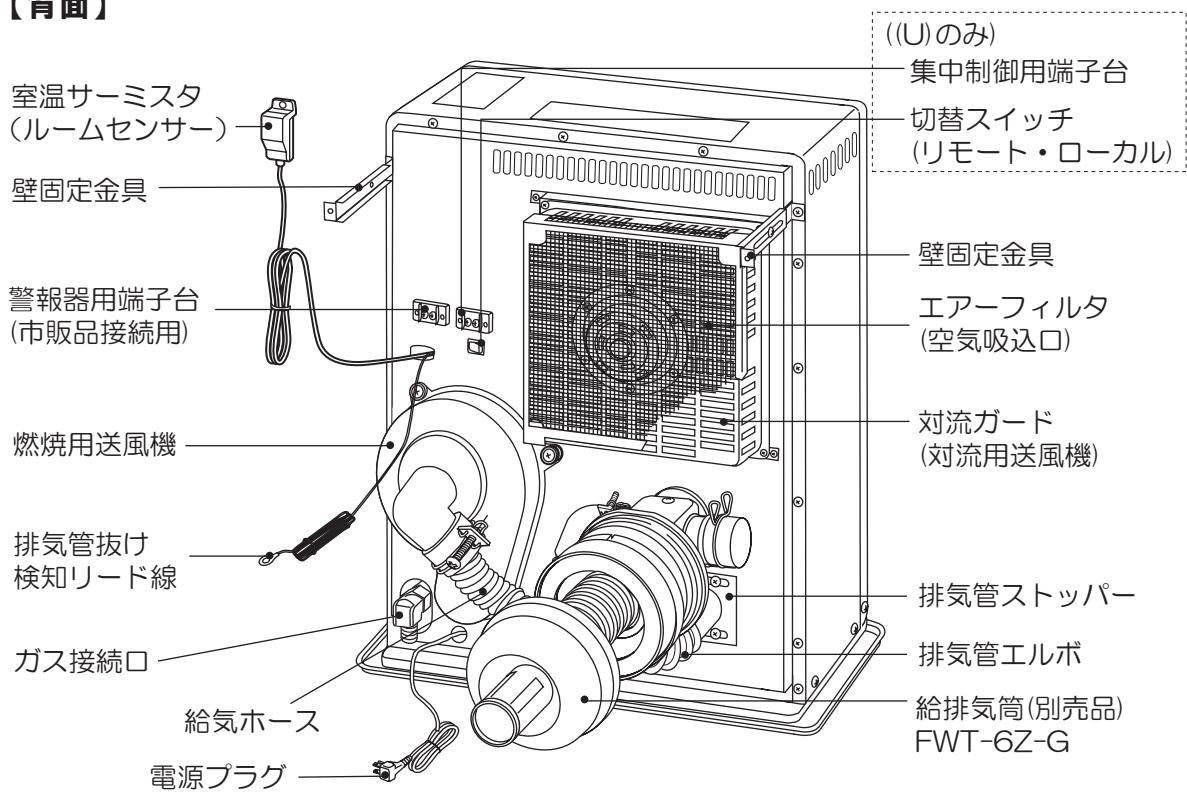
各部のなまえ

■外観図

【正面】

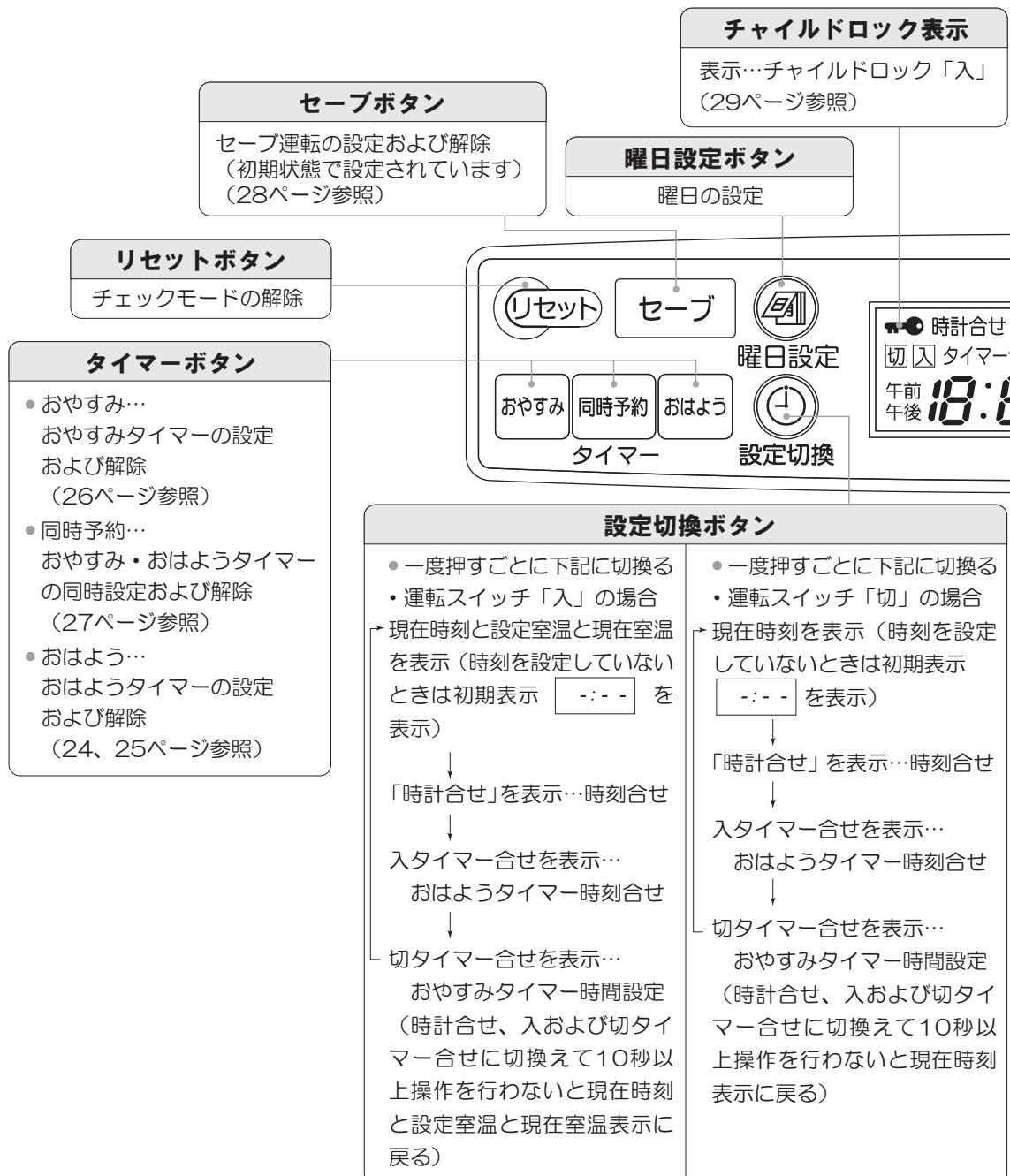


【背面】



各部のなまえ つづき

■表示部・操作部

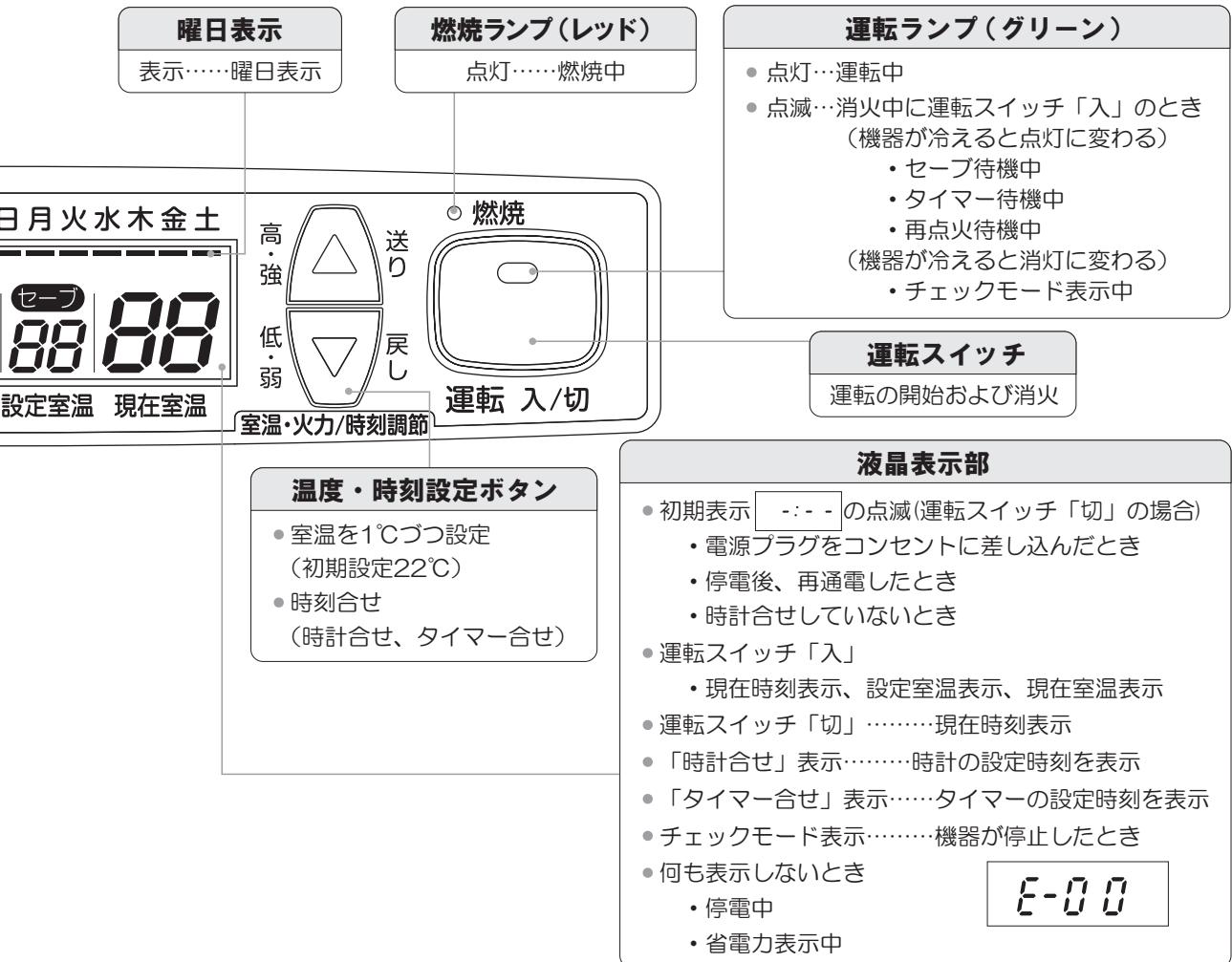


●電源プラグをコンセントに差し込み接続するなど、機器に電源が投入されたとき液晶表示部が約4秒間、全点灯します。全点灯の表示が終了してから操作してください。全点灯中に運転スイッチを「入」にすると「E-OO」を表示して点火しません。

ボタン受付音について

ボタン受付音の「ピッ」音を消すことができます。

「ピッ」音を消す場合は、セーブボタンを3秒以上長押しすると「ピッ」音が消えます。もう一度操作すると、「ピッ」音が発するようになります。



バックライト(照明)調整について

バックライト(照明)の明るさ調整ができます。

以下の手順を参考に設定してください。

①運転スイッチを「切」にしてください。

②おはようタイマーボタンを3秒以上長押ししてください。

③液晶表示部が「L1」へ切換ります。

④「L1」の状態から『▼』、『▲』を押す毎に

「LO」 \leftrightarrow 「L1」 \leftrightarrow 「L2」 \leftrightarrow 「L3」

と切換ります。

⑤設定したい内容を表示させておはようタイマーボタンを押し、通常の表示に戻せば設定完了です。



※出荷時は、「L1」に設定しています。

暗	「LO」	「L1」	「L2」	「L3」	明
	バックライト (照明)OFF	出荷時	バックライト (照明)ON		

使用前の準備

お使いになられるときは必ず2~11ページの「特に注意していただきたいこと」をお読みの上、安全な状態でご使用ください。

■点火前の準備と確認

1 ガス種・電源の確認

- ガス種・電源(電圧・周波数)は機器上面の銘板に表示してあります。

警告

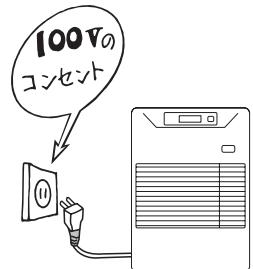
- 機器に表示してあるガスと使用するガスの種類が合っているか確認してください。
 - 電源(電圧・周波数)がAC100V(50/60Hz)であることを確認してください。

例：銘板（12A・13A用）

製品名 : FF-〇〇〇〇	製品名
外壁用(FF-W)	形式の呼び
都市ガス用 12A・13A	ガスの種類
12A 〇.〇〇kW 13A 〇.〇〇kW	電源(電圧)
定格電圧 : AC100V	電源(周波数)
定格周波数 : 50/60Hz	電源(周波数)
定格消費電力 : 〇〇/〇〇 W	電源(周波数)
製造 ○○○○○○-○○○○○○○	製造番号
○○○○.○○	製造年月
サンボット株式会社	
エネルギー消費効率 : 82.7%	

電源コードおよび電源プラグの確認

- 電源プラグをコンセントに差し込み接続してください。
 - 機器に電源が投入されたとき、液晶表示部が約4秒間全点灯します。

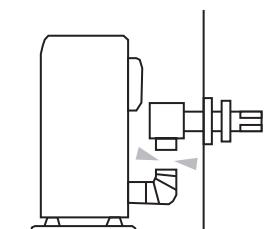


⚠ 注意

- !** ●電源コードの引き回し部分が放熱(排気管の放熱など)を受けない所にあるか確認してください。

2 給気ホース(給気管)・排気管の接続の確認

- 給気ホース(給気管)・排気管が正しく接続されているか確認してください。



警告

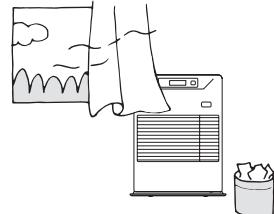
- 外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、大変危険です。

1 現在時刻と曜日合せ

- 初めて使用するとき、停電や電源プラグを抜き差ししたときは液晶表示部がになりますので、時刻・曜日合せを行ってください。
(時刻・曜日合せについては23~24ページ参照)

5 機器周囲の確認

- 機器の周辺および給排気筒トップの周囲に引火物や可燃物がないか確認してください。



△警告

- スプレー缶やガソリンなど引火物や可燃物があると火災や予期しない事故が発生するおそれがあります。

6 ガス栓を全開にする

- 機器と接続されているガス栓を全開にしてください。

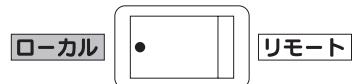
ガス栓を開く



(U) の場合 ●単独運転で使用する場合の切り替え方法

切替スイッチ

- 集中制御システム(SACS)に接続した機器を集中制御運転している場合は背面の切替スイッチが「リモート」側になっています。単独運転に切り替えたい場合は、背面の切替スイッチを「ローカル」側に切り替えて、通常の運転操作を行ってください。



(U) の場合 ●集中制御システム(SACS)に接続して使用する場合のアドレス設定方法

アドレス設定

- アドレス設定は通常、設置時に据付業者など業者が行っていますのでお客様ご自身で設定する必要はありません。

①電源プラグをコンセントに差し込んでください。

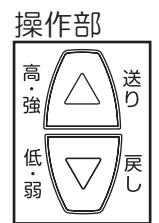
②運転スイッチを「切」にしてください。

③温度・時刻設定ボタンの「▲」と「▼」を5秒間同時押ししてください。
液晶表示部の設定室温に「Ad」、現在室温にアドレスが表示されます。

※出荷時アドレスは「OO」となっています。

④温度・時刻設定ボタンの「▲」を押すとアドレスが加算され(最大1F)、「▼」を押すとアドレスが減算されます。

⑤リセットボタンを押すとアドレスが設定され時刻表示に戻ります。

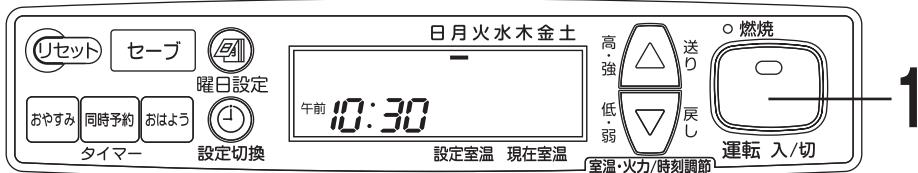


液晶表示部



使用方法

(U)の詳しい使用方法は集中制御システム(SACS)の説明書をお読みください。



省電力表示

運転スイッチが「切」で機器が停止中ボタンを押さない状態が約2分以上続くと省電力表示になり、表示部の表示が全て消えます。この状態から操作する場合は、いずれかのボタンを一度押して、表示部を表示させた後、各操作を行ってください。

■点火

1 運転スイッチを押して「入」にする

- 運転ランプが点灯し、液晶表示部に設定室温・現在室温が表示され、約15秒後にスパーク音がして点火します。
- 点火すると燃焼ランプが点灯します。
- 点火してから約30秒後に温風が出ます。
- 初期状態は設定室温「22」℃でセーブ運転が設定されています。セーブ運転を使用しない場合、セーブボタンを押して、セーブ運転を解除してください。
(セーブ運転については28ページ参照)
- 消火後、対流ファンが回っているときに再点火する場合、約1分間運転ランプが点滅し、その後運転ランプが点灯し、再点火します。



- 初めてご使用になるときや、しばらく使わなかったときには配管内に空気があるため1回の操作で点火しない場合があります。
- スパーク音がして1回で点火しなかった場合は、その後2回点火動作を行いますが、それでも点火しないときには、液晶表示部に [E-1] のチェックモードを表示して自動的に運転を停止します。そのようなときは運転スイッチをいったん「切」にし機器が停止したのを確認のうえ、ガス栓が開いているのを確認し、リセットボタンを押してチェックモードを解除してから運転スイッチを「入」にしてください。([E-1] 処置方法については30ページ参照)
- 運転スイッチを押して「入」にし、[E-90] のチェックモードが表示された場合は、排気管の接続が不十分であったり、排気管抜け検知リード線が正しく接続されていないためです。そのようなときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。



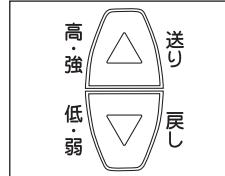
1

■ 室温調節

- 設定した室温になるように、火力を自動的に調節します。

1 温度・時刻設定ボタンの『▼』『▲』を押して、お好みの室温を設定する

- 『▼』または『▲』ボタンを押すと1°Cづつ変わり、押し続けると連続して変わります。
- 室温の設定範囲は「12~30」°Cです。
- 現在室温は「5~40」°Cの範囲で表示されます。



ただし、現在室温が5°C未満で「Lo」、40°Cを超えると「Hi」が表示されます。

- 設定室温の数字は室温のめやすです。設置条件(部屋の構造・設置場所・室外温度など)によっては必ずしも室温と一致しません。

- 設置条件によって最小燃焼になってしまってお部屋の温度が上がっていくことがあります。そのような場合はセーブ運転をお使いください。

セーブ運転中は、固定運転はできません。

(固定運転については21ページ参照。セーブ運転については28ページ参照)

- 設定室温は初期設定値「22」°Cに設定されています。

設定室温は変更した設定室温で常に記憶されますが、停電や電源プラグを抜き差しした場合には自動的に初期設定値に設定されます。



- 機器の前面に温風をさまたげる障害物を置かないでください。
障害物があると温風が回り込み室温調節が正しく働かない場合があります。
- 室温調節がうまく行われないときは、室温サーミスター(ルームセンサー)を適当な場所に移動してください。
- 室温サーミスター(ルームセンサー)は直接機器に取り付けないでください。
室温調節が正しく働かないだけでなく、セーブ運転の場合、室温よりも高い温度で感知し、点火・消火を頻繁に繰り返して故障の原因になります。

■ 使用方法 つづき



L-1, 1

■ 固定運転

- 火力を自動的に調節せずに、最小または最大火力で燃焼し続けます。

1 温度・時刻設定ボタンを押し、「Lo」または「Hi」に設定する

[最小固定運転] の場合

- 温度・時刻設定ボタンの『▼』ボタンを押すと、「12」℃の後に「Lo」が表示されて最小固定運転に入ります。

[最小固定運転] の場合



[最大固定運転] の場合

- 温度・時刻設定ボタンの『▲』ボタンを押すと、「30」℃の後に「Hi」が表示されて最大固定運転に入ります。

[最大固定運転] の場合



■ 固定運転の解除

1 温度・時刻設定ボタンを押し、お好みの設定をする

[最小固定運転] の場合

- 温度・時刻設定ボタンの『▲』ボタンを押し、お好みの室温に設定してください。

[最小固定運転] の場合



[最大固定運転] の場合

- 温度・時刻設定ボタンの『▼』ボタンを押し、お好みの室温に設定してください。

[最大固定運転] の場合



- 最大固定運転は、セーブ運転の設定時に自動的に解除され「Hi」から「30」℃に設定されます。
最小固定運転中は、セーブ運転はできません。
最小固定運転を解除してから、セーブ運転を設定してください。（セーブ運転については 28 ページ参照）
- 最大固定運転は、タイマー運転の設定時に自動的に解除され「Hi」から「30」℃に設定されます。（タイマー運転については 24~27 ページ参照）



1

■ 消火

1 運転スイッチを再度押して「切」にする

- 運転ランプと燃焼ランプが消灯します。液晶表示部の設定室温・現在室温表示が消え、現在時刻・曜日表示のみになります。
- 液晶表示が **-:-:-** になっている場合は時刻・曜日合せを行ってください。
(時刻・曜日合せについては23~24ページ参照)



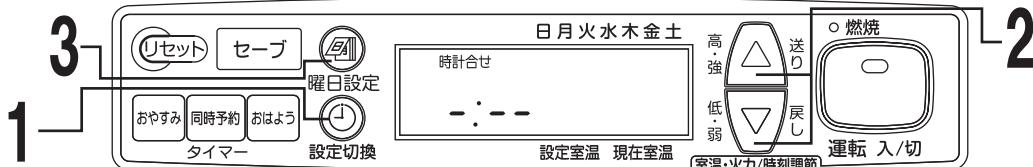
2 消火を確認する

- 消火後、燃焼ランプ・運転ランプが消灯したことを必ず確認してください。
- 対流ファンは機器が冷えるまでの数分間回り続けます。



- 長期間留守にするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグは対流ファンが停止してから抜いてください。
- 運転中、電源プラグをコンセントから抜いたりガス栓を閉めたりして、運転を停止しないでください。
機器が過熱するなど、故障の原因になります。
- お出かけになるときは必ず消火してください。
運転スイッチを「切」にしてください。

■ 使用方法 つづき



(U) の場合

集中制御システム(SACS)に接続されている機器はリモート設定時、機器本体の時刻・曜日合せに関係なく、集中制御システム側の時刻・曜日で運転制御されます。

機器本体の液晶表示が **-:-:** になっている場合は、機器毎に時刻・曜日合せを行ってください。

■ 時刻・曜日合せ

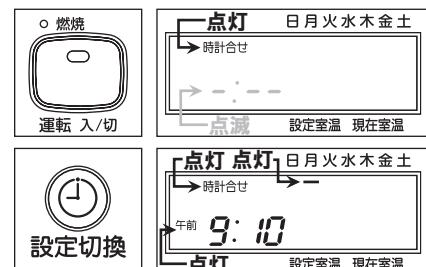
- 初めて使用するとき、停電や電源プラグを抜き差ししたときは、液晶表示部が約4秒間全点灯します。その後液晶表示部に **-:-:** が点滅、「時計合せ」が点灯して時刻・曜日合せモードになり、温度・時刻設定ボタン、曜日設定ボタンで時刻・曜日合せできます。
- 時刻・曜日合せを行っていない場合、液晶表示部に **-:-:** が点滅し、運転スイッチ「切」のときは、時刻・曜日合せモードを継続しますので、時刻・曜日合せを行ってください。

停止中でも運転中でも合せることができます。

1 「時計合せ」を表示させる

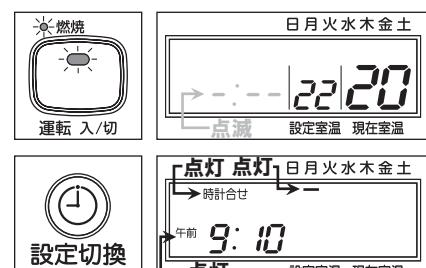
[運転スイッチ「切」]の場合

- 液晶表示部に **-:-:** が点滅表示されているときは「時計合せ」が自動的に点灯表示されます。
- 液晶表示部に時刻が表示されているときは、設定切換ボタンを押して、「時計合せ」を点灯表示させます。
(例) 時刻に午前9:10、曜日の「月」の下に曜日ランプが点灯表示されている場合



[運転スイッチ「入」]の場合

- 液晶表示部には現在時刻、設定室温・現在室温が表示されています。
- 設定切換ボタンを押して、「時計合せ」を点灯表示させます。そのとき、設定室温・現在室温表示は消灯します。
(例) 時刻に午前9:10、曜日の「月」の下に曜日ランプが点灯表示されている場合



2 温度・時刻設定ボタンの『▼』『▲』を押して、現在時刻に合せる

- 時刻は1分刻みで『▲』は送り、『▼』で戻ります。
- ボタンを押し続けると早送り、早戻しになります。
- 時刻設定中は「時計合せ」が点滅します。

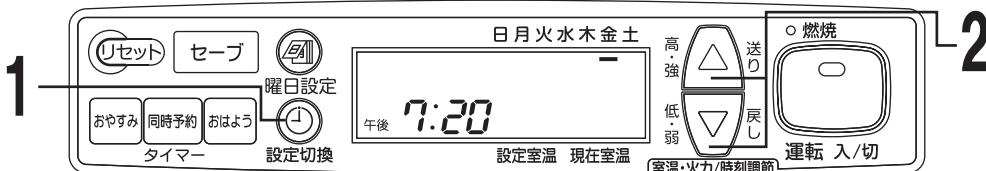
(例) 液晶表示部が **[- - -]** のとき

『▲』または『▼』ボタンを押すと、午前12:00が表示し、曜日の「日」の下に曜日ランプが点灯表示され、その時刻よりボタンを押して現在時刻に合せます。



3 曜日設定ボタンを押して、曜日ランプを現在曜日に合せる

- ボタンを押すと、曜日ランプの位置が変わり、押し続けると曜日ランプの位置が連続して変わります。
- 「時計合せ」表示のとき、10秒間操作がないと「時計合せ」が消え、運転スイッチが「切」のときは現在時刻表示に戻り、運転スイッチが「入」のときは現在時刻、設定室温・現在室温表示に戻ります。



■ タイマー運転 (U) はリモート設定時機器操作でのタイマー運転はできません。

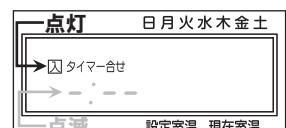
おはようタイマー時刻合せ ※時刻・曜日合せを行っていない場合、タイマー時刻合せできません。

- 寒い朝などおめざめ前にお好みの時刻に運転を開始します。

停止中でも運転中でも合せることができます。

1 設定切換ボタンを押して、「**入**タイマー合せ」を表示させる

- タイマー時刻と「**入**タイマー合せ」が点灯表示します。
タイマー時刻を初めて設定するときは **[- - -]** が点滅表示します。

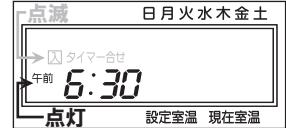


2 温度・時刻設定ボタンの『▼』『▲』を押して、希望のタイマー時刻に合せる

- 時刻は5分刻みで『▲』は送り、『▼』で戻ります。
- ボタンを押し続けると早送り、早戻しになります。
- 時刻設定中は「**入**タイマー合せ」が点滅します。

(例) 午前6時30分に点火させたいとき

『▲』または『▼』ボタンを押すと、午前12:00が表示し、その時刻よりボタンを押して午前6:30に合せます。停止中は曜日設定は出来ません。



- 「**入**タイマー合せ」表示のとき、10秒間操作がないと「**入**タイマー合せ」が消え、運転スイッチが「切」のときは現在時刻表示に戻り、運転スイッチが「入」のときは設定室温・現在室温表示に戻ります。
- タイマー時刻は一度設定すると記憶され、次から設定する必要はありません。
- 停電があると記憶が解除されます。再設定してください。

■ 使用方法 つづき

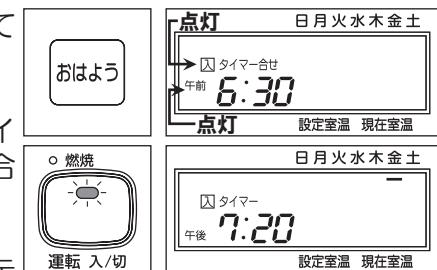


■ タイマー運転 (U) はリモート設定時機器操作でのタイマー運転はできません。

おはようタイマー点火 ※時刻・曜日合せを行っていない場合、おはようタイマー点火できません。

1 おはようタイマーボタンを押す

- 停止中に設定する場合、運転スイッチを「入」にしてからおはようタイマーボタンを押してください。
- 10秒間液晶表示部に「**入**タイマー合せ」とタイマー時刻を点灯表示します。温度・時刻設定ボタンでタイマー時刻を合せることができ、その間「**入**タイマー合せ」は点滅表示します。
- 10秒間ボタン操作がないと「**入**タイマー合せ」表示から「**入**タイマー」点灯表示になり、現在時刻を表示して、タイマーが設定されると消火して燃焼ランプが消灯します。



時間設定24時間を超える場合は、曜日指定をしてください。

2 曜日設定ボタンを押して曜日ランプを表示させ、続けて曜日設定ボタンを押して点火する曜日を指定する

- 一度押すと曜日の「日」の下に曜日ランプが点灯表示され続けて押すと曜日ランプの位置が変更されます。
- タイマーが設定されると、指定した曜日マークが点滅します。(現在曜日と同じ場合は点滅しません。)
(例)月曜日に曜日指定したとき
- 曜日指定はおはようタイマーボタンを押した後の「**入**タイマー合せ」表示中に行ってください。
- 指定した曜日を変更したい場合は、設定切換ボタンを押し「**入**タイマー合せ」を表示させ、曜日設定ボタンで変更してください。
- 曜日指定は記憶されませんので、タイマーを使用するたびに曜日指定をしてください。
- 現在曜日が違っていると指定の曜日に点火しませんので必ず確認してください。



セーブ運転をタイマー運転と同時に設定できます。

3 セーブボタンを押す

- 液晶表示部に「セーブ」表示と設定室温と現在室温が表示され、セーブ運転で予約できます。
- 最小固定運転中は、セーブ運転はできません。最小固定運転を解除してから、セーブ運転を設定してください。(セーブ運転については 28 ページ参照)



- おはようタイマー時刻前に点火する場合は、再度おはようタイマーボタンを押してください。(入タイマー表示が消えてタイマー運転が解除されます。)
- 曜日指定のみ解除したい場合、おはようタイマーボタンを押して、タイマー運転を解除し、再度おはようタイマーボタンを押してタイマーを設定してください。



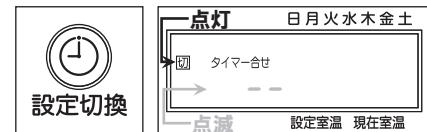
1 おやすみタイマー時間設定 ※時刻・曜日合せを行っていない場合、タイマー時間設定できません。

- 寒い夜などおやすみ前に時間を30~90分(10分毎)で設定でき、時間経過後に自動的に消火します。

停止中でも運転中でも合せることができます。

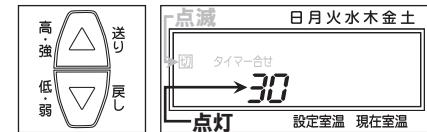
1 設定切換ボタンを押して、「切タイマー合せ」を表示させる

- タイマー時間と「切タイマー合せ」が点灯表示します。
タイマー時間を初めて設定するときは「- -」が点滅表示します。



2 温度・時刻設定ボタンの『▼』『▲』を押して、希望のタイマー時間を設定する

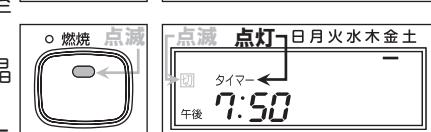
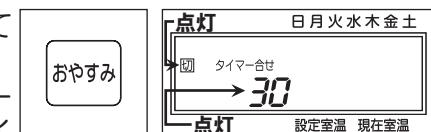
- 時間は10分刻みで『▲』は送り、『▼』で戻ります。
- ボタンを押し続けると連続して変わります。
- 時間設定中は「切タイマー合せ」が点滅します。
(例)30分後に消火させたいとき
- 「切タイマー合せ」表示のとき、10秒間操作がないと「切タイマー合せ」が消え、運転スイッチが「切」のときは現在時刻表示に戻り、運転スイッチが「入」のときは現在時刻、設定室温・現在室温表示に戻ります。
- タイマー時間は一度設定すると記憶され、次から設定する必要はありません。
- 停電があると記憶が解除されます。再設定してください。



おやすみタイマー消火 ※時刻・曜日合せを行っていない場合、おやすみタイマー消火できません。

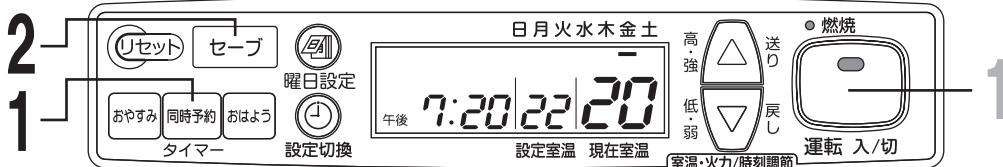
1 おやすみタイマーボタンを押す

- 停止中に設定する場合、運転スイッチを「入」にしてからおやすみタイマーボタンを押してください。
- 10秒間液晶表示部に「切タイマー合せ」とタイマー時刻を点灯表示します。温度・時刻設定ボタンでタイマー時刻を合せることができ、その間「切タイマー合せ」は点滅表示します。
- 10秒間ボタン操作がないと「切タイマー合せ」表示から「切タイマー」点灯表示となり、現在時刻、設定室温・現在室温を表示してタイマーが設定されます。
- タイマーが設定されると、1分間隔で残り時間が液晶表示部に表示されます。
- おやすみタイマーで消火した場合は、消火後、燃焼ランプが消灯、運転ランプは点滅し、液晶表示部に現在時刻を表示し、「切タイマー」の「切」が点滅表示されます。



- おやすみタイマー時刻前に消火する場合は、運転スイッチを再度押して「切」にしてください。（切タイマー表示が消えます。）

■ 使用方法 つづき



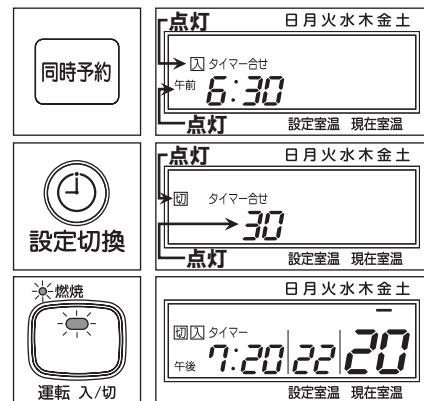
■ タイマー運転 (U) はリモート設定時機器操作でのタイマー運転はできません。

おやすみ・おはようタイマー同時予約 ※時刻・曜日合せを行っていない場合、同時予約できません。

●おやすみ・おはようタイマーの両方を行いたい場合に使用します。

1 同時予約タイマーボタンを押す

- 停止中に設定する場合、運転スイッチを「入」にしてから同時予約タイマーボタンを押してください。
- 10秒間液晶表示部に「**内**タイマー合せ」とタイマー時刻を表示し、好みの時刻に設定できます。
- 設定切換ボタンを押すと10秒間液晶表示部に「**切**タイマー合せ」とタイマー時間を表示し、好みの時間に設定できます。
- 10秒間ボタン操作がないと現在時刻、設定室温・現在室温を表示してタイマーが設定されます。
- 同時予約タイマーは、切タイマー時間と入タイマー時刻が両方設定されていないと予約できません。



セーブ運転と同時予約タイマー運転を同時に設定できます。

2 セーブボタンを押す

- 液晶表示部に「セーブ」が表示され、セーブ運転で予約できます。
- 最小固定運転中は、セーブ運転はできません。最小固定運転を解除してから、セーブ運転を設定してください。（セーブ運転については28ページ参照）



■ タイマー運転の解除

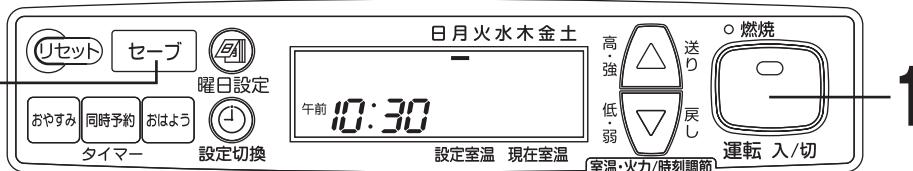
1 運転スイッチを押して「切」にする

- 運転ランプと燃焼ランプが消灯して、液晶表示部のタイマー表示と設定室温・現在室温表示が消え、現在時刻・曜日表示になります。
- 同時予約タイマー・おやすみタイマー・おはようタイマーの時間および時刻を解除したい場合は、それぞれのタイマーボタンを再度押して、タイマー運転を解除します。



- タイマー運転をする場合、周囲に可燃物があったり、その他危険な状態がないことを確認してください。
- お出かけのときはタイマー運転しないでください。
予期しない事故が発生するおそれがあります。
- 停電したときや運転中にチェックモードが表示されたときは、タイマー運転は解除されます。

1,1



1

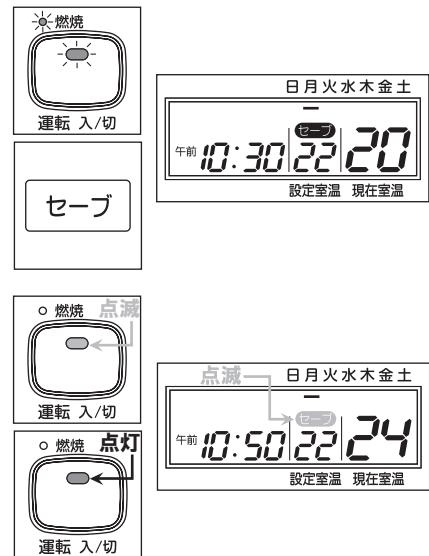
■ セーブ運転 設定室温に合せて燃焼・消火を調節して、お部屋の暖めすぎをおさえます。

初期状態は設定室温『22』℃でセーブ運転が設定されています。

- 設定室温に合せて自動的に燃焼・消火を繰り返し、現在室温を調節してお部屋の暖めすぎをおさえます。
- 設置条件(部屋の構造・設置場所・室外温度が比較的暖い時期など)で最小燃焼になってもお部屋の温度が上がっていく場合にご使用ください。

1 運転スイッチを押して「入」にする

- 運転ランプが点灯し、液晶表示部に設定室温・現在室温表示と「セーブ」が点灯表示され、点火すると燃焼ランプが点灯します。
- 燃焼中の場合、運転スイッチを「入」にする必要はありません。
- セーブ運転は設定した状態で記憶されます。セーブ運転が解除されている場合は、セーブボタンを押すと設定されます。
- セーブ運転中、現在室温が設定室温より約2℃上昇したときは、セーブ表示が点滅となり、この状態が1分間続くと消火します。消火後対流ファンが回っている間、運転ランプが点滅し、対流ファンが止まると運転ランプが点灯します。
- 再点火は現在室温が設定室温と同じ温度になったとき「セーブ」が点滅から点灯に変わり、点火します。
- 設定室温は変更した設定室温で常に記憶されますが、停電や電源プラグを抜き差しした場合には自動的に初期設定値「22」℃でセーブ運転が設定されます。
- 室温サーミスタ(ルームセンサー)は直接機器に取り付けないでください。室温調節が正しく働かないだけでなく、室温よりも高い温度で感知し、点火・消火を頻繁に繰り返して故障の原因になります。



■ セーブ運転の解除

1 セーブボタンを押す

- 液晶表示部の「セーブ」が消灯します。



■ 使用方法 つづき

1,1



■ チャイルドロックについて

小さなお子様などによるいたずら操作防止や、誤って運転スイッチを押しても点火しないように、操作部をロックすることができます。

■ チャイルドロック

- 子供などによるいたずらを防止します。

運転中でも停止中でも設定できます。

1 設定切換ボタンを3秒以上長押しする

- 液晶表示部に「」が点灯表示されます。
- 運転中に設定した場合、解除と運転スイッチを「切」にする以外の操作ができません。
- 停止中に設定した場合、解除する以外の操作ができません。



■ チャイルドロックの解除

1 設定切換ボタンを3秒以上長押しする

- 液晶表示部の「」が消えます。



- 停電したときは、チャイルドロックが解除されます。

安全装置

●異常が生じたとき、自動的に消火する装置です。

安全装置が作動した場合、運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてから下記の処置をしてください。

安全装置のなまえ ●作動の原因	チェックモード	処置の方法
転倒時ガス遮断装置 ●転倒したとき ●強い振動や衝撃を受けたとき ●地震(震度5程度以上)のとき	E - 22	機器の周囲や排気管の外れやゆるみ、ガス漏れなどの異常がないことを確認し、操作部のリセットボタンを押してください。
停電安全装置 ●停電したとき ●電源プラグが抜けたとき	E - 00	通電後、機器が冷えてから操作部のリセットボタンを押してください。
	(U) で「リモート」 運転中の場合	停電時には運転スイッチを「切」にしてください。「入」にしていますと再通電後、自動的に点火しますので注意してください。
過熱防止装置 ●エアーフィルタにほこりがたまつたり、エアーフィルタがカーテン等でおおわれたとき ●温風吹出し口の前方が障害物でおおわれているとき	E - 14 E - 15	エアーフィルタの掃除や障害物などの原因を取り除いてから、操作部のリセットボタンを押してください。
立消え安全装置 ●不着火 点火しなかったとき ●途中消火 運転中消火したとき	E - 11 E - 12	ガス栓が開き足りないか、閉じていないか確認し、操作部のリセットボタンを押してください。再びチェックモードが表示される場合には、お買い求めの販売店にご連絡ください。長時間連続使用した場合、ガスマーテーでガスが止まることがあります。その場合は最寄りのガス事業者(供給者)にご連絡ください。
給排気トップ閉そく検知機能 ●給排気筒トップの先端がふさがれているとき ●強い風が吹いたとき	E - 21	給排気筒トップの先端が、雪やビニール袋などでふさがっていないか点検後、操作部のリセットボタンを押してください。
排気管抜け検知装置 ●排気管接続部が外れたとき ●排気管抜け検知リード線が外れたり断線したとき	E - 90	修理が必要です。お買い求めの販売店にご連絡ください。
過電流保護装置 ●過電流が流れ、ヒューズが切れたとき	表示なし	停止中であれば、省電力表示になっていないか確認してください。(19ページ参照)それでも表示されない場合は修理が必要です。お買い求めの販売店にご連絡ください。

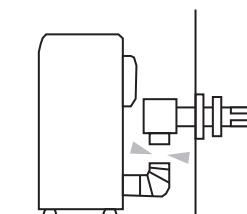
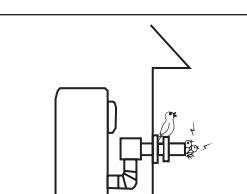
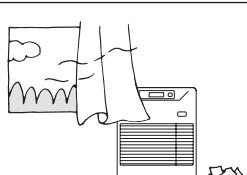
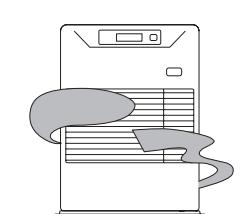
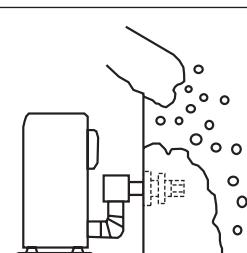
日常の点検・手入れ

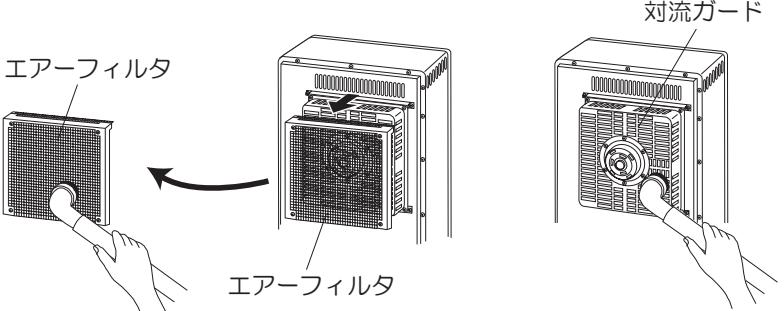
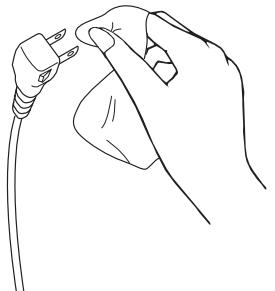
■点検・手入れのときの注意

●安全にお使いいただけるよう点検とお手入れは定期的に行ってください。

必ず運転スイッチを「切」にして、機器が冷えてから下記の処置をしてください。

■点検・手入れの必要項目、時期、方法

時期	点検・手入れ項目	方 法
シ ー ズ ン は じ め	給気ホース(給気管) 排気管	<ul style="list-style-type: none">●給気ホース(給気管)・排気管の接続部 が外れていないか点検します。●給気ホースが排気管に当たっていない か点検します。 
	給排気筒トップ	<ul style="list-style-type: none">●室外の給排気筒トップが鳥の巣やビニール袋などでふさがれていないか点検します。 
使 用 ご と	周囲の可燃物・ 引火物	<ul style="list-style-type: none">●機器の上や周囲・給排気筒トップの周 囲に可燃物、引火物がないか点検しま す。 
	排ガスの漏れ	<ul style="list-style-type: none">●排ガスのにおいや、目がチカチカしないか点検します。排ガスが漏れていますと危険です。 
	給排気筒トップ	<ul style="list-style-type: none">●給排気筒トップが雪や氷でふさがれて いないか点検します。ふさがれている と異常燃焼することがあります。 

時期	点検・手入れ項目	方 法
週に1回以上	エアーフィルタ	<ul style="list-style-type: none"> ●機器背面に付いているエアーフィルタと対流ガードに付いたほこりを掃除機などで取り除きます。 ●汚れがひどいときは布などに台所用中性洗剤をつけてふきとります。 ●掃除が終わりましたら、エアーフィルタを取り付けてください。  <p>エアーフィルタ 対流ガード エアーフィルタ</p>
	機器外観 安全のため、電源プラグをコンセントより抜いてから行ってください。	<ul style="list-style-type: none"> ●機器などのほこりや汚れは、乾いたやわらかい布などできれいにふきとります。 ●汚れがひどいときは布などに台所用中性洗剤をつけてふきとります。 ●シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。 ●温風吹出しきのほこりは掃除機などで取り除きます。
1シーズンに2～3回	電源プラグ	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグにほこりがついていないか点検します。 

定期点検(有料)

●この機器は使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部品がありますので専門のサービス員による定期点検をおすすめします。

■定期点検(有料)の実施時期

2シーズン毎に1回程度定期点検をおすすめします。

ただし、湿度の高いところ、ほこりの多いところ、温泉地域などでご使用の場合は、1シーズン毎の定期点検をおすすめします。お買い求めになった販売店にご相談ください。

定期点検の内容

専門のサービス員が機器の性能・機能について正常であるかを診断し、必要に応じて修理作業・簡単な清掃を行います。

安全にお使いいただくために製品の状態を点検・診断するものです。

お申し込み先

お客様→お買い求めになった販売店

定期点検の費用

定期点検の費用はお客様のご負担になります。

定期点検の結果、部品交換および修理等が必要な場合は、処置内容および費用についてお客様にご相談のうえ、実施するか否かを決定します。

■定期点検の内容

定期点検の内容	項目
設置状態、給排気まわりの点検・確認	●製品の設置・使用状態 ●給排気筒接続と詰まり ●給排気筒トップの詰まり
安全装置および運転動作の点検・確認	●安全装置の働き ●運転動作の点検 ●操作部品や動く部品の動き
環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換	●ガス通路接続用Oリングの点検 ●給排気部品・排気管接続用Oリングなどの点検 ●バーナの点検 ●各種電装部品の点検 ●各種パッキンの点検
製品の清掃・整備	●本体内 ●エアーフィルタ・対流ファン

故障・異常の見分け方と処置方法

●故障かな?と思ってよく調べてみると故障でない場合があります。
次のような場合は故障ではありません。

現象		方 法
点火時・消火時	初めて使用するときやシーズン始めに、煙やにおいができる	ほこりやバッキンが焼けるためです。 異常ではありません。
	点火したときや、消火した後に「コツンコツン」と音がする	ガス通路を開閉するための電磁弁(電気で開閉するガス弁)が作動するときの音です。 異常ではありません。
	点火したとき、「ボツ」という音がする	点火音で異常ではありません。
	「ピチピチ」や「カンカン」という音がする	本体内部の加熱・冷却時に出る金属の膨張・収縮音です。 異常ではありません。
燃焼時	運転してもすぐに温風が出てこない	冷風を出さないようにしてあり、機器内が暖まると、自動的に温風が出ます。
	運転中に「シャー」という音がする	ガスの通過音がする場合があります。
	停止してもすぐに温風が止まらない	対流ファンが機器内部を冷やしてから自動的に止まります。
	間違って電源プラグを抜いてしまったために、すぐに差し込んで運転操作したが点火しない	対流ファンが機器内部を冷やしてから止まります。数分待ってから、再度運転操作をしてください。

故障・異常の見分け方と処置方法 つづき

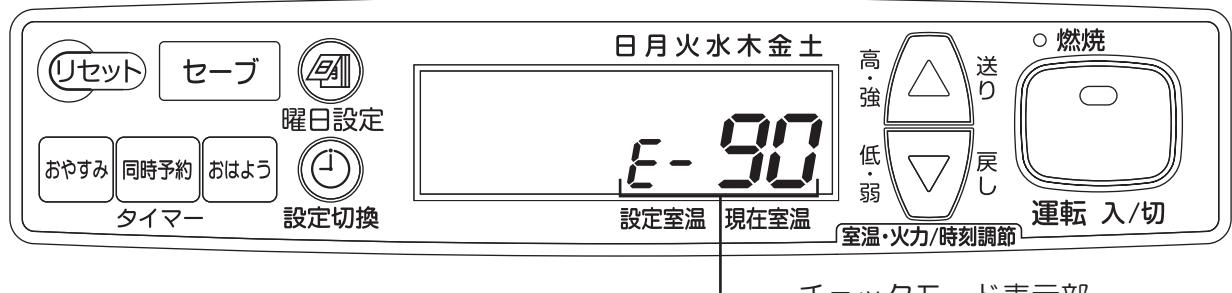
●異常が生じた場合は下表を参照して、お客様ご自身で処置してください。

現象 原因	運転ランプ が点灯しない	点火しない	液晶表示部に表示された チェックモード						参照ページ	
			表示なし	E-00 E-12	E-11 E-22	E-14 E-15	E-21			
電源プラグがコンセントから抜けている	●	●							電源プラグをコンセントに確実に差し込む	17 30
省電力表示になっている	●	●							運転スイッチ以外のボタンを押す	19 30
ガス栓が閉じている		●			●				ガス栓を開く	18 30
ガス栓が開ききっていない		●			●				ガス栓を開く	18 30
停電があった(U)のリモート時は除く				●					リセットボタンを押す	30
エアーフィルタにはこりがたまっている						●			掃除する	30 32
エアーフィルタがカーテンでふさがっている						●			カーテンを取り除く	30 31
温風吹出し口前方が障害物でおおわれている						●			障害物を取り除く	30 31
給排気筒トップの先端がふさがれている				●			●		給排気筒トップ先端のしゃ閉物を取り除く	30 31
地震や強い衝撃があった					●				機器周囲、給排気筒を点検する	30 31
強い風が吹いた				●			●		給排気筒を点検する	30 31
緊急停止スイッチが押された(※1)					●				リセットボタンを押す	—

※1 カギ付パネル取付の場合

以上の方で点検し、処置してもなおならないときは、使用を中止しお買い求めの販売店にご相談ください。

修理をお申しつけのときには故障内容をできるだけ詳しく、また液晶表示部に表示されているチェックモードをご連絡ください。



チェックモード表示部

チェックモードに下記のような表示が出たときは、お買い求めの販売店へご連絡ください。

E- 16 E- 31 E- 32 E- 44 E- 61
E- 70 E- 72 E- 76 E- 90

● [] は(U)のみ

市販のガス漏れ警報器を機器に接続している場合、警報器の異常出力を検知すると下記のようなチェックモードを表示し、運転を停止します。

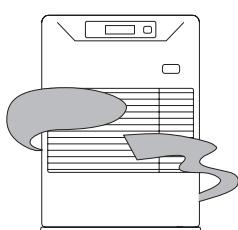
E- 38	ガス漏れ警報器のコンセントが抜けている可能性がありますので確認してください。 ガス漏れ警報器に異常がない場合は、機器をお買い求めになった販売店にご連絡ください。
E- 37	ガス漏れの可能性があります。 ガス漏れ警報器を確認し、ガスが漏れていた場合はガス事業者（供給業者）にご連絡ください。 漏れていない場合は、機器をお買い求めになった販売店にご連絡ください。
E- 40	排ガス漏れの可能性があります。 ガス漏れ警報器を確認し、機器をお買い求めになった販売店にご連絡ください。

このような現象のときは使用を中止し、販売店にご連絡ください

● 使用される場所や条件または長時間の使用により、下記のような現象が見られる場合には使用を中止して、必ずお買い求めの販売店に修理依頼してください。

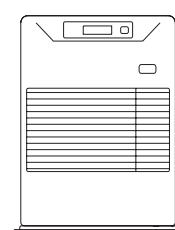
排ガスのにおいがしたり、 目がチカチカする

● 排ガスが漏れているおそれがあります。
排ガスが室内に漏れていますと、危険です。



点火・燃焼・消火するときに 「ボン」という大きな音がした

● 機器が損傷したり、パッキンが飛散しているおそれがあります。



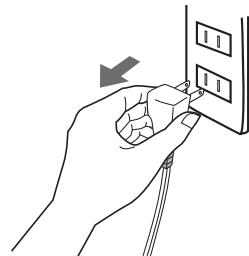
保管(長期使用しない場合)

●長期間使用しないとき(シーズン終了時)は、次の要領でお手入れしてください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

1

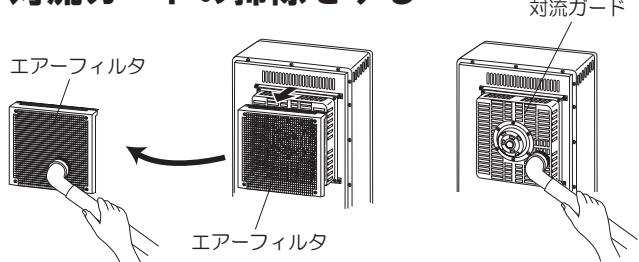
- ぬれた手で触らないでください。
感電のおそれがあります。



2 機器の外観・エアーフィルタ・対流ガードの掃除をする

2

(32ページ参照)



3 ガス栓を閉じる

3

ガス栓を閉じる



4 機器は設置したまま保管する

4

- やむなく、取り外して収納する場合は、お買い求めの販売店へ作業を依頼してください。
(有料)



- 機器本体は、お客様ご自身で移動したり、設置したりしないでください。

仕様

製品名	FF-4215G、FF-4215G-P		FF-4215G(U)、FF-4215G-P(U)
形式の呼び	FF-4215G		FF-4215G(U)
種類	燃焼方式		強制燃焼式
	給排気方式		密閉式
	放熱方式		強制対流式
点火方式	連続放電点火		
暖房出力	13A・LPガス用 4.20 kW (3,610kcal/h)		
	12A用 3.91 kW (3,360kcal/h)		
暖房の目安	木造(戸建)	13A・LPガス用	温暖地: 18.0m ² (11畳) 寒冷地: 18.0m ² (11畳)
		12A用	温暖地: 16.5m ² (10畳) 寒冷地: 16.5m ² (10畳)
	コンクリート(集合)	13A・LPガス用	温暖地: 25.0m ² (15畳) 寒冷地: 29.5m ² (18畳)
		12A用	温暖地: 23.0m ² (14畳) 寒冷地: 26.5m ² (16畳)
外形寸法	高さ603mm×幅490mm×奥行き325mm		
質量	21kg		
電源電圧及び周波数	AC100V 50/60Hz		
電源コード長さ	約2m		
定格消費電力	燃焼時	39W/38W	39W/38W
	待機時	0.8W/0.8W	0.8W/0.8W
給排気筒の呼び径	D40		
給排気筒径	60mm		
給排気筒の壁貫通部の口径	80~85mm		
延長の最大長さ	4m3曲がり		
排気温度	260°C以下		
安全装置	立消え安全装置、停電安全装置、転倒時ガス遮断装置		
	排気管抜け検知装置、給排気トップ閉そく検知機能(風圧スイッチ)		
	過熱防止装置(サーモスタット、サーミスター)、過電流保護装置(電流ヒューズ)		
ガス接続	TU1/2オネジ、強化ガスホース接続		
附属品	ワイヤーバンド(1)、ストッパーリング(2)、断熱カバー(1)		
	壁固定金具(2)、延長用短管(1)、ねじ4×25(2)		
	取扱説明書(1)、設置工事説明書(1)、住所一覧(1)		

※(U)は集中制御仕様

製品名	形式の呼び	使用ガス 使用ガスグループ	1時間当たりのガス消費量
FF-4215G	FF-4215G	12A・13A	12A 4.73 kW(4,070kcal/h)
FF-4215G(U)	FF-4215G(U)		13A 5.08 kW(4,370kcal/h)
FF-4215G-P	FF-4215G	LPガス	5.08 kW (4,370kcal/h)
FF-4215G-P(U)	FF-4215G(U)		

アフターサービス

■保証書について

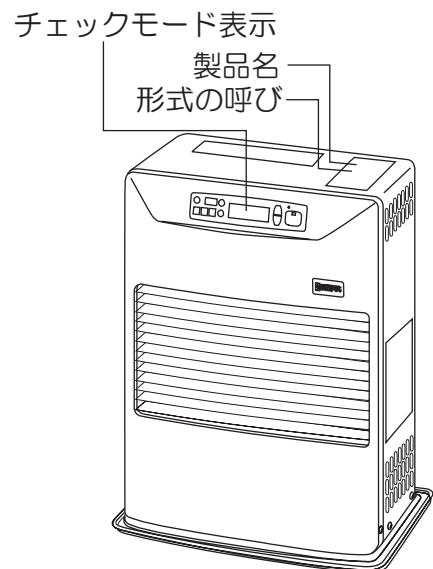
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

■修理を依頼するときについて

「故障・異常の見分け方と処置方法」(34~36ページ参照)に従って点検してください。処置してもなおならないときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店へご連絡ください。

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理いたします。

ご連絡していただきたいこと		
ご 住 所		
お 名 前		
電 話 番 号		
製 品 名	FF-4215G FF-4215G-P	FF-4215G(U) FF-4215G-P(U)
形式の呼び	FF-4215G	FF-4215G(U)
お買い上げ日	年	月 日
故 障 又 は 異常の内容	できるだけ詳しく(表示部のチェックモード数字など)お知らせください。	
訪問ご希望日		



- 保証期間が過ぎているときは、販売店にご相談ください。
修理によって使用できる場合は、希望により有料修理いたします。
- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■転居・移設について

- ガスや電源の種類は地域によって異なり、そのままご使用できない場合があります。
転居先のガスや電源をご確認のうえ、最寄りのガス事業者にご相談ください。
- 機器の設置場所を変更されるときは、お買い求めの販売店にご依頼ください。

■補修用性能部品の保有期間にについて

- この機器の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後10年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

据付け

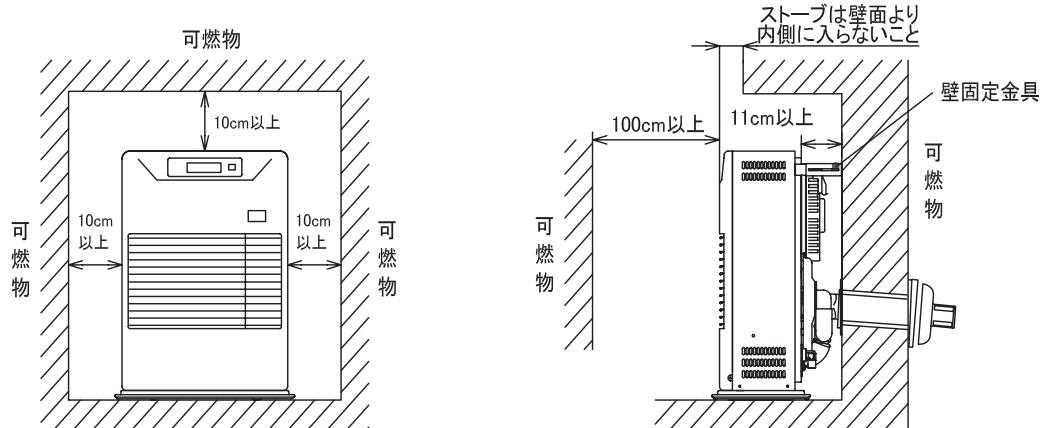
■設置工事は販売店に依頼する

設置工事や移設工事は販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。

■据付け場所の選定および標準据付け例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。設置工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり販売店または据付業者とよくご相談してください。また、「標準据付け例」については、下図を参照してください。

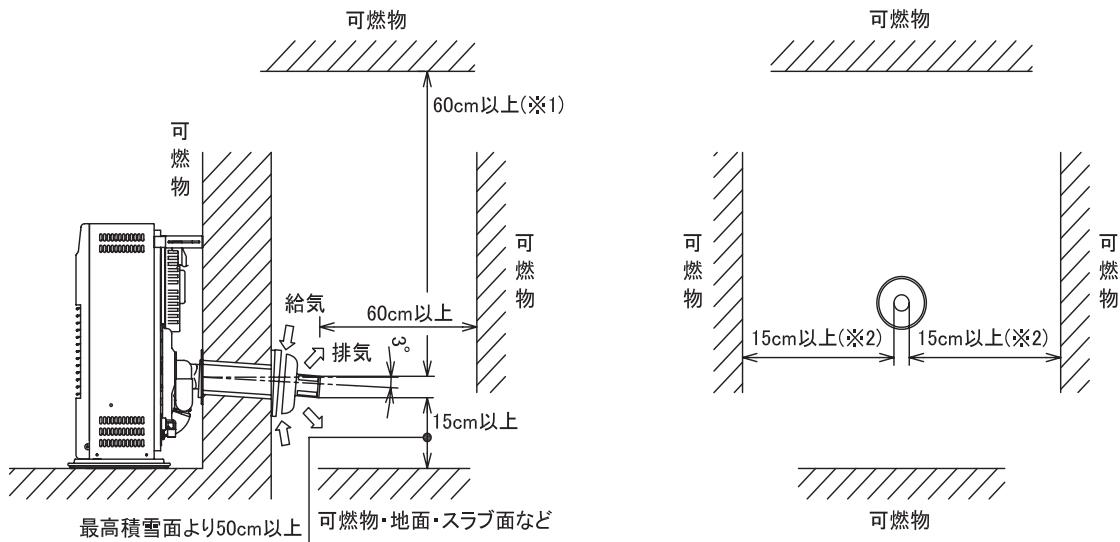
【機器から周囲の可燃物までの離隔距離】



- 機器が囲われる場所に設置する場合の内部やその周辺は、できるだけ不燃材料または準不燃材料、あるいは防熱板で仕上げを行ってください。また、機器は必ず壁面より手前に出してください。

据付け つづき

【給排気筒トップから周囲の可燃物までの離隔距離】



注(※1)

60cm以上の寸法は、不燃材を使用する場合は30cm以上とする。

注(※2)

防火上、必要な可燃物との離隔距離は15cm以上ですが、燃焼排ガスの滞留をさけるため、片側は45cm以上離してください。

- 給排気筒トップは上方および両側に気流を阻止する障害がないこと。
- 雪の多い地方では最高積雪面より50cm以上離れる場所に給排気筒を取り付けてください。
- 図では可燃物までの離隔距離を示していますが、性能維持のため、不燃物などの場合も上図離隔距離としてください。
(※1部は除く)

■給排気筒を延長する場合の注意

給排気筒を延長する場合は、4m3曲がり以下で取り付けられる場所を選定してください。

■積雪地区における注意

積雪の多い地方では、積雪時に給排気筒が雪でふさがれないような取り付け場所を設定してください。また、風がよどむような場所では、排ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがあります。

■据付け後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、設置工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、設置工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

- 給排気筒を延長して設置している場合、延長長さは4m以下、曲がりは3箇所以下としてください。
- 室温サーミスタは機器より外し、部屋の温度を代表できる壁面にピンなどで固定されているかを確認してください。

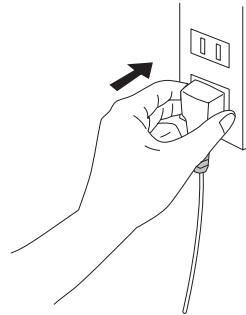
試運転

試運転は、販売店または専門業者と一緒に必ず行ってください。

■運転準備

1 電源コードおよび電源プラグの確認

- 電源プラグをコンセントに差し込み接続してください。



2 ガス栓を全開にする

- 機器と接続されているガス栓を全開にしてください。

ガス栓を開く



ガス漏れ警報器を接続した場合

- 市販品のガス漏れ警報器を接続した場合は、設置工事説明書に従って接続・設定がされていることを確認してください。
- ガス漏れ警報器の取扱いについては、ガス漏れ警報器の説明書に従ってください。

(U)で集中制御システム(SACS)と接続した場合

- 集中制御システムに接続した場合は、設置工事説明書に従って接続・設定がされていることを確認してください。
- 集中制御システムの取扱いについては、集中制御システムの説明書に従ってください。
- 機器単独運転で試運転を行いたい場合は機器背面の切替スイッチを「ローカル」側に行ってください。
(切替スイッチについては18ページ参照)

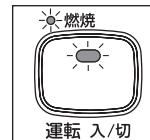
試運転 つづき



■運転

1 運転スイッチを押して「入」にする

- 運転ランプが点灯し、液晶表示部に設定室温・現在室温が表示され、約15秒後にスパーク音がして点火します。
- 点火すると燃焼ランプが点灯します。
- 点火してから約30秒後に温風が出ます。
- 初期状態では設定室温「22」℃で、セーブ運転が設定されています。設定室温より約2℃上昇した状態が1分間続くと消火しますので解除する場合は、セーブボタンを押してください。



■消火

1 運転スイッチを再度押して「切」にする

- 運転ランプと燃焼ランプが消灯します。液晶表示部の設定室温・現在室温表示が消え、現在時刻・曜日表示のみになります。
- 対流ファンは機器が冷えるまでの数分間回り続けます。



正常燃焼のめやす

- 正常燃焼のめやすとして36ページのような現象がないことを確認します。



保証書(販売店様控)

★ 製品名	
★ 製造番号	No.
保証期間	1年

★お買い上げ日	年 月 日
★お客様	ご住所 _____ お名前 _____ 電話 ()

★販売店	住所・店名 電話 ()
------	---------------------

印

★印欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

販売店様へお願い

- (1)本保証書(販売店様控)および次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、本保証書は切り取り線より切り取り保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- (2)本保証書に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

△切り取り線
△
修理メモ

⑨ サンポット株式会社

〒025-0301 岩手県花巻市北湯口第2地割1番地26

お客様相談窓口 TEL 0198-37-1177

保証書(お客様控)

★ 製品名	
★ 製造番号	No.
保証期間	1年

★ お買い上げ日	年 月 日
★ お客様	ご住所 _____ お名前 _____ 電話 ()

★ 販売店	住所・店名 電話 ()
-------	-----------------



★印欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

<無料修理規定>

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店が無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 器具はきびしい品質管理のもとに生産しておりますが、使用される場所や条件、または使用ひん度等で変化することは避けられません。従って未然にトラブルを防止し、未永く安心してご使用いただくために、2シーズンに1回程度シーズンはじめか保管する前のどちらかに、専門技術者による点検整備を依頼されることをおすすめします。点検整備・交換部品の費用はお客様にて負担いただきます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、取扱説明書裏面に記載の最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下等による故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (ニ) 特殊使用(例えば、車両、船舶への搭載等)に使用された場合の故障および損傷
 - (ホ) ご転居などによる熱量変更に伴う改造・調整の場合
 - (ヘ) 本保証書の提示がない場合
 - (ト) 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 条例等に適合しない据付工事が行われたことによる故障および損傷
 - (リ) 取扱説明書に記載された据付方法に従わない据付工事による故障および損傷
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only Japan.
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または取扱説明書裏面記載の最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間にについて詳しくは取扱説明書をご覧ください。

※お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

 サンネット株式会社

〒025-0301 岩手県花巻市北湯口第2地割1番地26
お客様相談窓口 TEL 0198-37-1177

愛情点検

●長年ご使用のガスFF暖房機の点検をぜひ！



ご使用の際、
こんな症状は
ありませんか？

- ガス漏れがある。
- 排ガスのにおいがしたり、
目がチカチカする。
- 運転中異常な音がする。
- その他の異常や故障がある。



ご使用
中止

このような場合、事故防止のため使用をせずスイッチを切りコンセントから電源プラグを抜きガス栓を閉め、必ずお求めの販売店に点検修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対なさらないでください。

ご購入(据付)年月日	年 月 日
ご購入店名	
TEL.	

お客様へ……おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。

⑨ サンポット株式会社